

学校自己評価のまとめ

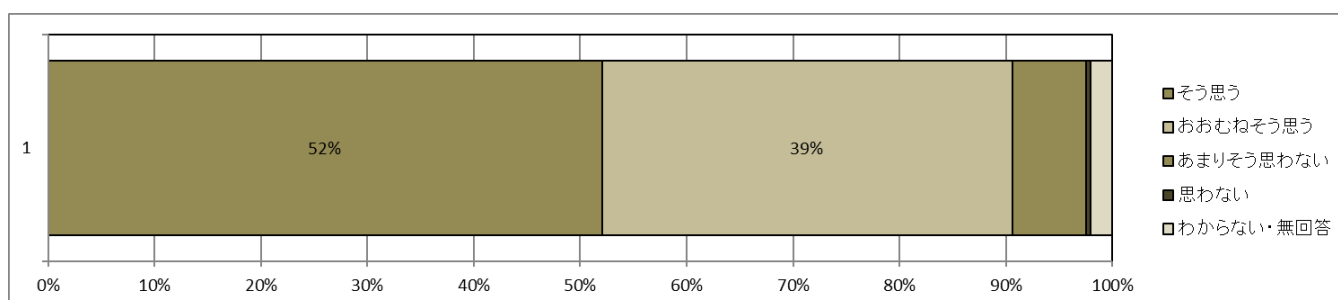
長野県松本養護学校

保護者の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。各部の教育活動についてアンケートにご協力いただきありがとうございました。

アンケート結果がまとまりましたので、以下のとおりにご報告いたします。今後、アンケートの結果を生かして、よりよい学校運営を目指します。

本校の小学部、中学部、高等部、ひまわり部、寄宿舎、信濃学園分室、しなの木・ひだまり教室の保護者の皆様からアンケート用紙244枚を回収させていただきました。

問1 お子さんは、学習活動に意欲的に取り組んでいると思いますか。

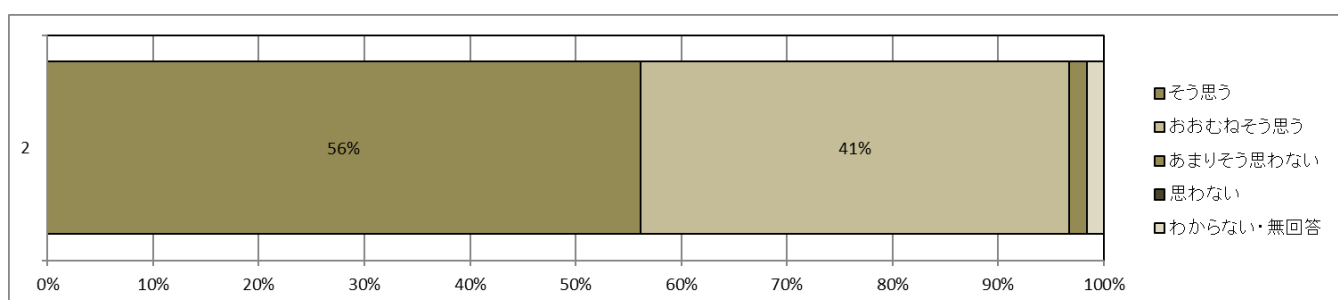


「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、91%の方から児童生徒が学習活動に意欲的に取り組んでいると評価をいただきました。

本校では個別の教育支援計画にある願いをもとに、児童生徒がより意欲的に学習活動に取り組めるよう日常生活や行事など、様々な場面で、場の設定や手だてを工夫してきました。

今後もすべての児童生徒が、積極的に取り組み満足感のある学習活動となるように、支援を積み重ねていきます。

問2 職員は、個別の教育支援計画や指導計画を生かして、お子さんにわかりやすく適切な支援を行っていると思いますか。

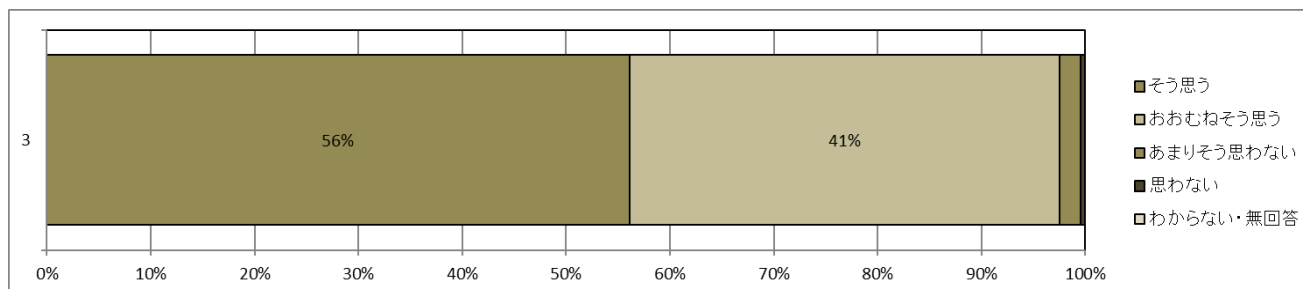


「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、97%の方から個別の教育支援計画や指導計画を生かしてわかりやすく適切な支援を行っていると感じていただきました。

これらの計画は、児童生徒の姿に即したものとなるように、家庭訪問や懇談会などを通して、保護者の皆様とともに作り上げ、実践、見返しをしながら次につなげていくことを常に大切にしてきました。

今後も学年・クラス・自立活動など関係職員で情報を共有したり、支援会議等で支援の検討をしたりしながら、児童生徒にとってより分かりやすく適切な支援となるよう努めていきます。

問3 お子さんの健康と安全に留意した学校生活が行われていると思いますか。

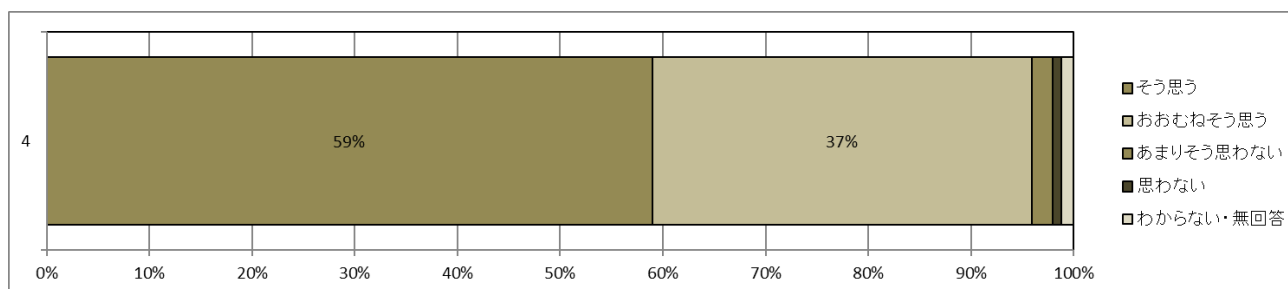


「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、97%の方から健康と安全に留意した学校生活が行われていると評価をいただきました。

健康面では、毎日の健康観察で児童生徒の状態を確認のうえ、必要に応じて保健室・保護者と連携をする、服薬やアレルギー除去食に関しては複数確認を行うなどしています。また、手洗い週間や性教育を通じて児童生徒の衛生面の意識向上を図ってきました。安全面では、不審者侵入対応訓練、避難訓練、消火器訓練、AED講習会、毎月の安全点検等を行っています。

今後も日々の確認、訓練等を通して健康と安全に対する意識を高めていくように努めていきます。

問4 職員は、一人一人の人権を尊重した、あたたかいかわりをしていると思いますか。

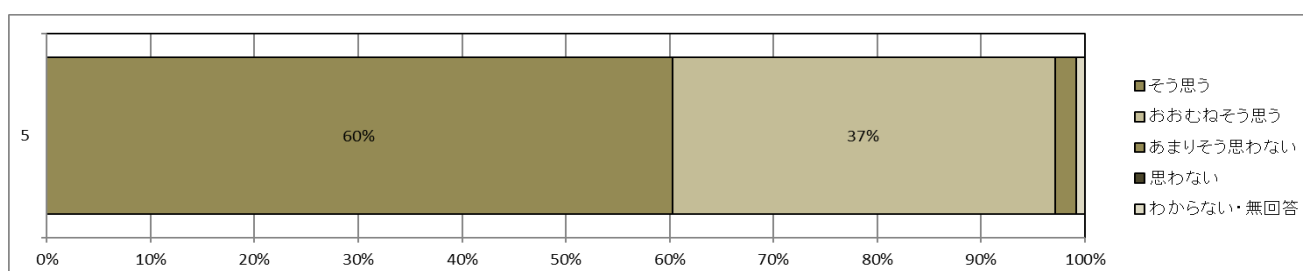


「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、96%の方から、人権を尊重したあたたかいかわりをしていると評価をいただきました。

本年度も職員の意識向上を図るため、外部講師による、人権研修会を開きました。また職員会で定期的に「自分はどうか」という視点から、自らを振り返ることを大切にした非違行為防止研修会を行っています。

今後も一人一人の人権を尊重し、児童生徒が安心して生活できる支援とかかわりを大切にしていきます。

問5 懇談会、連絡帳、家庭連絡票等を通して、お子さんの活動のねらいや、活動内容、その様子が十分に伝わっていますか。



「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、97%の方から 懇談会、連絡帳、家庭連絡票等を通して、活動のねらいや、活動内容、その様子が十分に伝わっていると評価をいただきました。

保護者の方との十分な連携が、児童生徒をよりよく知り、日々の学習の手だてや支援につながると考えます。

今後も連絡帳において毎日の活動内容や様子を丁寧にお伝えするとともに、懇談会や家庭連絡票等を通して成長の姿をお伝えできるようにしていきます。

全体にかかわることについてのご質問・ご意見から

支援にかかわって

- ・ 愛情をもって教育していただいていると思う。校長先生が毎朝子どもたちを迎えてくださること、嬉しく思う。担任の先生も大好きで学校も好き。
- ・ あたたく優しさをもって接して下さる先生方の支援により、子どもたちも安心して寄宿舎の生活がおこなわれていると感じている。
- ・ 今年は前期、後期と2回の実習があった。本人は学校は永遠に続くものだと思っていると思う。実習先でも丁寧にみて頂けたのだが、改めて学校のありがたさを実感した。毎日行く場所があるって、本当に幸せなことだと思う。
- ・ 毎年成長が見られて、できなかったことができるようになったりと感謝している。
- ・ その子を認め、できないところを工夫して支援いただき、安心して学校や寄宿に子どもをお任せできる。
- ・ けがをしたら、様子をきちんと伝えてほしい。担任の先生方の情報の共有は大事だと思う。

たくさんの温かいお言葉をいただき大変ありがたく思います。一方、児童生徒への支援のあり方、担任同士の連携不足、についてなど、貴重なご意見をいただきました。これらは職員として最も大切に考えなくてはならない部分です。ご意見を真摯にうけとめ、改善策を検討して日々の支援にあたるように努めます。

今後も気になること、心配な点がありましたら、担任はじめ職員へその都度、遠慮なくお伝えください。

学校体制などにかかわって

- ・ 寿台養護との再編で、離ればなれになってしまう友だちが少なくありません。何らかの交流を続けられたらと願う。
- ・ インフルエンザ等の感染症について、学校でどのくらい流行っているのかを知りたい。
(体調が悪くなって医者にかかる時、必ず学校ではどうかと聞かれ、答えられない。)
- ・ 中学部でいろいろな作業活動が中心となっていくと思いますが、選択の幅が増えるべきだと思う。子どもたち個人に合った教育を選べるコース制など、早急に検討してほしい。
- ・ 分教室について、もっと色々情報や交流があると高等部へ行く道しるべになるのではと思う。
- ・ 保護者が早期からアセスメントや現場実習の重要性を認識していただけるよう、小学部の時から啓発が必要と思う。
- ・ 学校行事はいつも楽しく参観させて頂いているが、行事日が連続していると都合がつけづらい

今年度、小学部は松養祭の時期に寿台養護学校と交流を行いました。それぞれの学校での落ち着いた生活・学びを第一に考え、今後も行事等計画していきます。感染症の状況については、受診前など遠慮なく学校へお問い合わせください。

各部の教育課程については、学習の内容がより精度の高いものとなるよう、懇談会・連絡帳等を通して保護者の方と相談すること、チームで支援を考えることを今後も大切にしていきます。進学にあたり不安な点もあるかと思いますが。そのような場合は遠慮なくご相談ください。本校は小学部から高等部まで幅広く児童生徒が学んでおります。部や本校・分室・分教室等を超えた参観、進路講演会や、施設見学などの機会を通して、進路について考える機会としていただければと思います。

行事についてはできるだけ連続しないよう配慮しておりますが、諸事情により連続してしまう場合もあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

寄宿舎にかかわって

- ・ 寄宿舎を希望しても女子はなかなか入れない。よいタイミングと思い希望しているのに入れないのは適切な支援と思えない。
- ・ 寄宿舎は今年何回か体験させていただいて、今まで知らなかった事をいろんな先生や保護者の方から聞いて「こんなこともやってくれるんだ」と思った事が多くあったので、子どもを入れたら大きく成長して変わってくれるのかなあと考えて期待をしています。

寄宿舎の教育的支援にご理解をいただき、期待感を持っていただけていること、大変ありがたく思います。

入退舎につきましては、児生一人一人の教育的課題を一年ごと見直して検討がされています。舎生数につきましては、学校全体の男女比と入舎希望の割合を考慮してグループ編成・入舎生の決定がされており、その結果、男子より女子の方が少ない現状となっています。適切な時期に必要な寄宿舎生活が受けられるよう今後も全校で考えていきます。

施設・環境にかかわって

- ・ 建物の老朽化が激しいので早く建て直してほしい。
- ・ 設備の老朽化した部分の改善を希望。作業時の安全、健康面で配慮できる事は考えてやっていただけるとうれしい。
- ・ 寄宿舎は早急に改築してほしい。
- ・ 全体的に建て直しや改築を検討してほしい。

施設環境に関しては毎年多くのご意見をいただいております、ご心配とご不便をおかけしております。

今年度は、クーラー設置が進められてきました。また、長期間にわたる閉舎で大変ご迷惑をおかけしました寄宿舎の水道は、井水から上水への切り替え、水道管交換等の工事が終了しました。他にもひまわり教室前の駐車場に砂利を入れる、トイレドア修復、寄宿舎の一部床張り替えなど少しずつですが整備が進んでおります。PTAからも県へ校舎・寄宿舎・体育館・プールの改修、通路・駐車場の舗装、トイレの増設などの要望をいただいております。今後も日常の中で改善できることは速やかに対応し、少しでも安全に生活できるように心がけていきます。

スクールバスにかかわって

- ・ 以前はいろいろと気になる事が多く、不信感が募っていた。「子どもたちを乗せている」という気持ちで運転していただきたい。
- ・ 乗車人数が減っていることや、その日の乗車人数の増減もあるかと思うが、現在の運行時間の10分以上早めの到着に合わせて乗車することが多い。そうであれば、年度途中であっても時間の改正をしていただく等、考えていただきたい。何のために時間が決められているのかな？とってしまう。

スクールバス運行受託業者に対し、児童生徒の安全かつ安心できるスクールバスの運転を徹底するよう申し伝えました。また、事業主のみならず運転者に対しても同様に申し伝えました。

今後もお気づきの点はその都度遠慮なくお知らせください。また、時刻に関しては運行予定時刻までは発車せず、停留所におりますので、当初の運行時刻を目安に焦ることなく安全第一でお越しください。

紙面の関係ですべてのご意見・ご要望にお応えすることはできませんが、ご不明・ご心配な点につきましては、遠慮なく学校までお問い合わせください。

長野県松本養護学校

校長 勝又 和彦

担当 松田ゆみ子

Tel 0263-59-2234

Fax 0263-59-1005